

栄中学校グループの 小中一貫した教育 通信

栄 中学校
栄北小学校
栄東小学校
栄緑小学校

NO. 3 (R4. 12. 7)

札幌市で「小中一貫した教育」が今年度より全面実施となったのは、No.1でお伝えした通りです。今号と次号で、「小中一貫した教育」について、少し詳しく説明します。

実施の背景

- ・教育基本法、学校教育法の改正による小学校・中学校を通した義務教育9年間の教育の目的・目標の新設
- ・学習指導要領（H29）総則「学校段階間の接続」の新設
- ・札幌市教育アクションプラン（後期）基本施策への「一貫性・連続性のある教育活動の充実」の位置付け
- ・小中連携教育が広がっているものの、札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」の実現に向けては、更なる工夫が必要

※詳しくは、右記の二次元コードから「札幌市小中一貫した教育基本方針」を御覧ください。

札幌市が目指す小中一貫した教育

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において、
「知・徳・体の調和の取れた育ち」の一層の充実を図る

札幌市の「小中一貫した教育」推進の四つの視点

9年間を通した
子どもの学びのつながり

「課題探究的な学習」を取り入れた授業づくりを軸として、義務教育9年間の連続性のある教育を目指す。

子ども理解・
生徒指導の
連続性

小学校と中学校が子ども理解や指導について共通の姿勢をもち、切れ目なく子どもの育ちを支援する。

教職員の
連携・協働

小学校と中学校の教職員が、連携を一層密にし、子どもの9年間の学びや育ちをつなげることを目指す。

家庭や地域
との関わり

家庭や地域が小学校及び中学校と目指す子どもの姿などを共有し「地域とともにある学校づくり」を目指す。

左記の四つの視点から、枠内の取組を計画・実施して教育効果を高めることができるようパートナー校で推進していきます。栄中学校区のパートナー校は、**栄中学校・栄北小学校・栄東小学校・栄緑小学校**の4校です。

パートナー校においては、目標設定や目標に応じたこれまでの教育活動の捉え

直しの他、持続可能な協働体制の整備、管理職・実務担当者会議や合同研修会の開催等、できる取組から順に進めることになっています。

私たち栄中学校区では、10月6日版としてホームページに掲載したグランドデザインにおいて、パートナー校の願いと取り組む内容、スケジュール等を作成しながら、できるところから進めています。次号では、本校区で設定した「目指す子ども像」や今年度計画・実施している内容についてお知らせします。

栄中学校地区「小中一貫した教育」グランドデザイン→

